

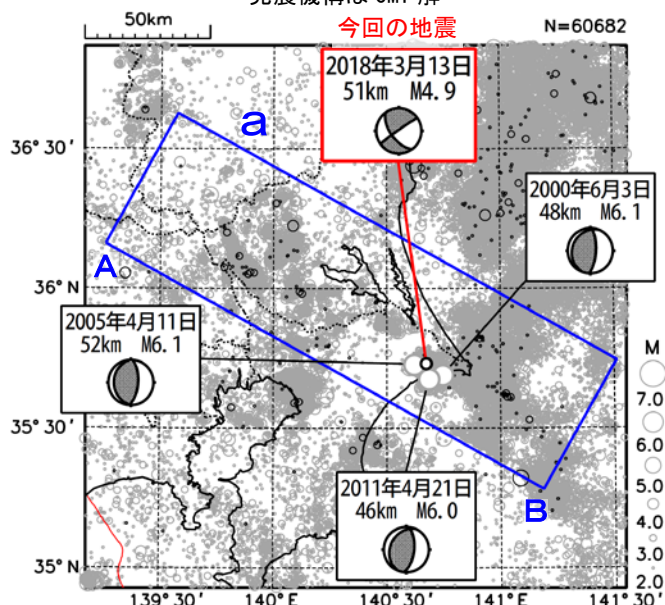
3月13日 千葉県北東部の地震

震央分布図

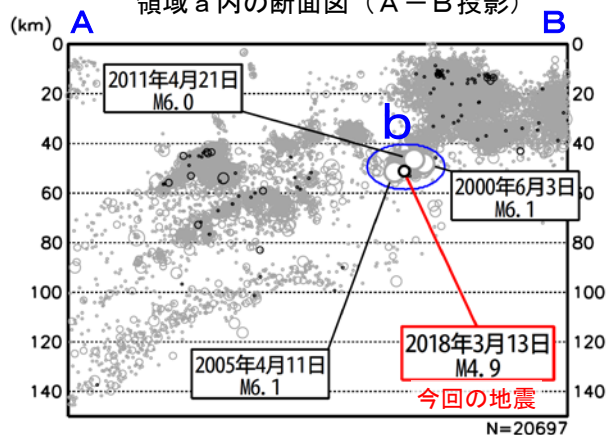
(1997年10月1日～2018年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2018年3月以降の地震を濃く表示

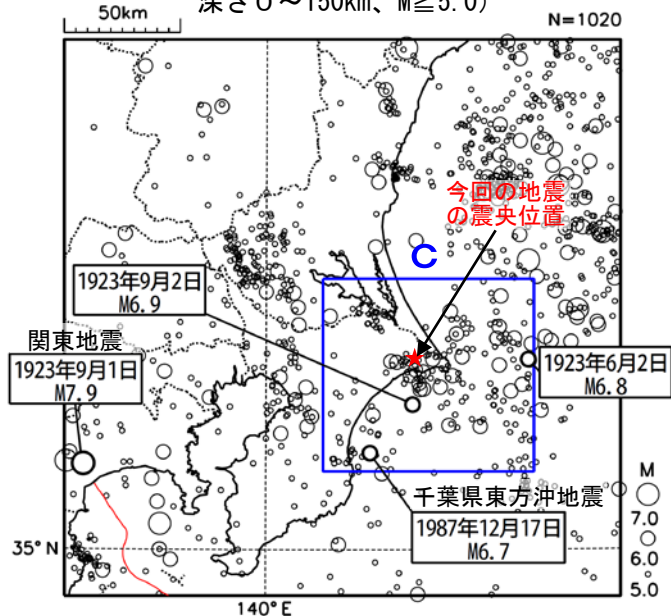
発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



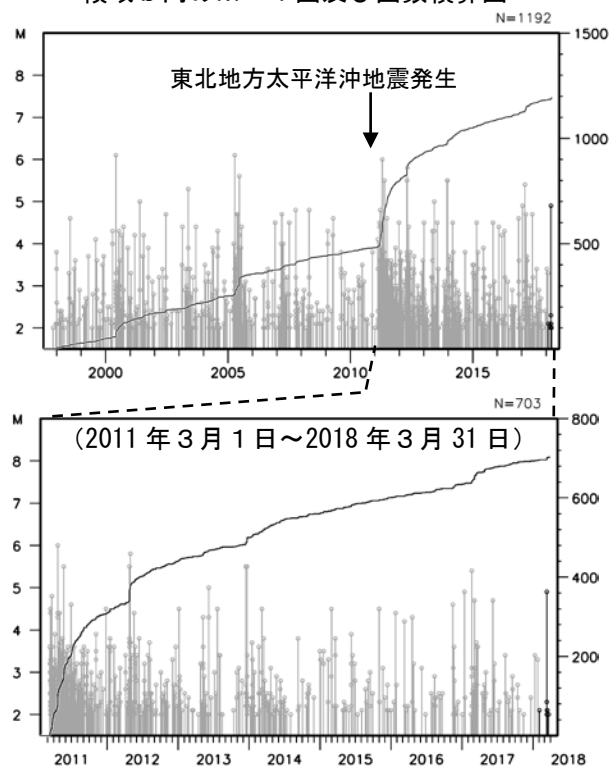
震央分布図

(1923年1月1日～2018年3月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2018年3月13日15時46分に千葉県北東部の深さ51kmで $M4.9$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、 $M6$ 程度の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M6$ 程度の地震が時々発生している。1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震($M6.7$ 、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

